

地域社会との共生

方針・戦略

古河機械金属グループは、積極的に社会に参画し、その発展に貢献することを方針として、企業行動憲章および役職員行動基準に定めています。

[古河機械金属グループ企業行動憲章](#)

[古河機械金属グループ役職員行動基準](#)

取り組み

社会貢献活動における注力分野

当社グループは、1875年、草倉銅山(新潟県)の経営に乗り出した時を発祥としています。その後、1877年に経営を始めた足尾銅山(栃木県)は、明治工業史に特筆される技術革新を行うことで、日本一の産銅量を誇るまでに発展し、我が国の産業発展に貢献する一方、古河グループ発展の原動力の役割を果たしました。

地域社会との共生は、当社グループの持続的な発展に不可欠との認識の下、創業の精神を象徴する地であり、当社グループの礎を築いた地でもある足尾をはじめ、当社グループが事業活動を行う地域を中心に、地域社会との共生に向けた活動を進めています。地域社会に密着した活動としては、地域清掃ボランティアへの参加や児童・生徒を対象とした社会科見学の受入れを実施しています。

● 社会貢献活動において注力する活動分野

活動分野	主な活動内容
教育	児童・生徒を対象とした社会科見学の受入れ
文化・芸能	「古河掛水倶楽部」や「古河足尾歴史館」の運営・管理、史跡の活用と維持管理
地域社会との共生	地域清掃ボランティアへの参加
環境保全	植林活動

社会貢献活動事例

(1) 地元高等学校からのインターンシップ受入れ

2024年7月22日～24日、古河ロックドリル(株)高崎吉井工場にて、群馬県立富岡実業高等学校のインターンシップに協力し、同校の生徒3名を受け入れました。インターンシップを通して、生徒が将来の進路について考える機会の提供や、勤労観・職業観の育成に貢献しました。当社グループの社会貢献活動が、地域の教育に貢献しているとの認識の下、今後もこうした活動に取り組んでいきます。

(2) 広瀬川清掃ボランティア

当社グループ各社では地域社会への貢献活動の一環として清掃ボランティアに参加しています。2024年度は、9月に宮城県仙台市で開催された「広瀬川1万人プロジェクト 第36回広瀬川流域一斉清掃」に当社グループの古河産機システムズ(株)東北支店から従業員およびその家族計8名が参加しました。



広瀬川清掃ボランティア

(3) 足尾小中学校の社会科見学を実施

2024年11月6日、古河C&F(株)は足尾小中学校の生徒を受け入れ社会科見学に協力しました。小学5年生4名と先生が訪れ、工場の製造ラインを見学しました。小学生にも分かりやすく製品説明を行ったのち、工場内の造型職場・鑄込職場を実際に体験してもらいました。



社会科見学の様子

(4)古河掛水倶楽部

当社グループは、地域社会の魅力を促進する活動の一環として、栃木県日光市足尾町において「古河掛水倶楽部」の運営・管理に取り組むことで、地域文化の維持・発展に貢献しています。

古河掛水倶楽部は、足尾銅山の隆盛期に貴賓客の接待や宿泊施設として利用されていた迎賓館です。大正初期に改築され、外観は洋風、内部は和洋、それぞれの様式を用いた2階建ての建造物で、鹿鳴館や古河庭園などを設計したジョサイア・コンドルの影響を受けたといわれています。

館内には国産で最も古いとされるビリヤード台のあるどう球場や日本間など、貴賓客をもてなす設備がそろっています。

当倶楽部は2006年に国の登録有形文化財として登録されました。



古河掛水倶楽部 登録有形文化財(建造物)

近代化産業遺産に指定

経済産業省では近代化産業遺産の保存、活動を一層進める観点から、2007年11月に全国から33の近代化産業遺産群を構成する個々の近代化産業遺産を地域活性化に役立つ資産として認定し、その所有者などに対し、認定証およびプレートを授与しました。

認定された遺産のうち、古河機械金属(株)は足尾銅山関連遺産(栃木県)、好間炭鉱関連遺産(福島県)、筑豊炭田北九州関連遺産(福岡県)が認定を受けました。

当社としても認定を受けた近代化産業遺産を大切に保管するとともに、地域の活性化に向けた取り組みを更に進めていきたいと考えています。



国指定史跡 通洞坑



国指定史跡 宇都野火薬庫跡